



YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

世界へのプレゼントになろう

「世界へのプレゼントになろう」 *Be a gift to the world*

2015-16年度 RI会長/K.R.“ラビ”ラビンドラン RI/D2590ガバナー/箕田 敏彦 横浜旭RC会長/新川 尚

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-2 後藤ビル2F

TEL.045-365-3273

FAX.045-365-3132

Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp

〒241-0821

例会場 二俣川相鉄ライフ4Fコミュニティサロン

例会日 毎週水曜日/12時30分～1時30分



2015年9月30日 第2214回例会 VOL. 47 No. 12
体験例会

■司 会 S A A 二宮麻理子

■開会点鐘 会 長 新川 尚

■斉 唱 君が代、奉仕の理想

S L 北澤 正浩

■出席報告

会 員 数	32 名	本日の出席数	27 名
本日の出席率	100%	修正出席率	96.15%

■本日の欠席者

なし

■他クラブ出席者

増田 (東京新橋 RC)

■ゲスト

八重樫 東様(第40代 WBC 世界フライ級王者)



左より、新川会長、八重樫選手、古川市議

■体験例会ゲスト

古川なおき様 (市会議員)

内田 東吾様 (㈱ウチダ)

関口 大樹様 (㈱カナエル)

■会長報告

皆様こんにちは、シルバーウィークはいかがお過ごしでしたでしょうか。私は子供達が相手をしてくれなかったので、ダラダラと過ごしてしまいました。

今日はプロボクサー八重樫選手を迎えての体験例会です。多くのお客様をお迎えできたことを嬉しく思います。ここで少しロータリークラブと当横浜旭ロータリークラブの活動についてお話したいと思います。

ロータリークラブとは社会のため、人々のために役に立ちたいと思う異業種の職業人の集まりです。ロータリークラブ会員は、自分自身と、自分の職業の価値と品位を高め、会員相互の親睦を基本として、情報や意見の交換、地域社会への奉仕活動などを目的としています。1905年アメリカのシカゴで最初は4人の会員で始まりました。今では全世界で、120万人以上の会員、33,000以上のクラブがあり、それぞれで奉仕活動を行っています。

横浜旭ロータリークラブでは、旭高校での職業講話、旭区民まつりへの参加、チャリティーコンサートの主催、過去にはメダカの頒布などの活動を行っています。普段は毎週水曜日 12 時半から例会を行い、会員や外部の方から卓話を頂いております。まだまだお伝えしたいことはあるのですが、時間の関係でここまでにしておきます。少しでも興味を持たれましたら、是非入会をご検討ください。我々は皆様のご入会をお待ちしております。

○地区関係

1) 東日本集中豪雨被災地への義援金に対する協力依頼

地区より先の集中豪雨被災への義援金の依頼がきております。本来でしたら理事会で検討の上、皆様にお願ひするところですが、至急とのことなので、ご案内させていただきます。

■社会奉仕委員会

社会奉仕委員長会議報告

田川 富男

日時 9月 28(月)

場所 ソシア 21

箕田ガバナー、鈴木地区委員長はじめ 61 クラブの委員長が参加。ガバナーより各クラブの奉仕活動について提言をされました。一つは以前に比べて内容は充実していても、インパクトのある奉仕活動が見られない、又、継続奉仕活動が各クラブに多くあるが、新しい奉仕事業を計画してはいかがなものか、との事でした。一楽ガバナー補佐を中心にグループ討議をし、各グループが前向きな意見を提案していました。

10/18 に当クラブの活動、旭ふれあい区民祭りにも協賛しています。奮って活動に参加をお願いします。

■チャリティーコンサート部会 福村 正

9/24 に説明会と第 1 回会議を行いました。出演する学校の音楽部顧問の先生にクラブ事務所に集まって頂き、来年 1/11 に保土ヶ谷公会堂で開催されるコンサートの概略説明と意見交換を行いました。

今回は岩沼地区から常盤木学園の生徒が参

加され、学生同士の交流が始まります。

■研修・広報委員会報告

○経済と地域社会の発展と米山記念奨学会

松本 英二

16 日例会後の都合が合わず、昨日研修致しました。まず旭区の経済発展について。若い世代の方々が生活しやすい環境、例えば「子育てしやすい」「犯罪ゼロの街」等、安心して暮らせる街づくりを目指し居住したい地域 NO.1 になるくらいの意気込みを以って、近隣商店街や大規模団地等と協力して地域の発展にロータリークラブとして関わる事が出来れば今後のクラブの発展にも有効だと思います。

テーマが米山月間の事もありましたので、ホームページ等で調べて見ました。日本国内で民間団体として、最大の奨学会である事、国際奉仕、社会奉仕に通じた活動を行っている事等、様々な情報がホームページに掲載されていました。今の時代背景にあわせて内容の見直しや、日本の学生にも奨学会を利用できるよう提案したいと思いました。

■親睦委員会

北澤 正浩

情報集会について

情報集会の開催を 10 月中にお願い致します。テーマは①横浜旭 RC の強み、弱みについて②増強についてです。各リーダーは意見を取りまとめていただき、発表をお願いします。

○メンバー表

チーム A (順不同、敬称略)

青木、市川、増田、斎藤、杉山、鈴木、漆原、
チーム B

秋内、今野、新川、二宮 (登)、岡田、佐藤 (利)
チーム C

福村、後藤、松本、太田 (勝)、関口、内田、
滝澤

チーム D

安藤 (公)、五十嵐、吉原、太田 (幸)、佐藤 (真)
田川

■ニコニコ BOX (会員敬称略)

新川 尚 / ①体験例会にお越しの皆様、古川なおき様、ようこそお越し下さいました。

②八重樫さん、本日の卓話宜しくお願い致します。

市川 慎二／①八重樫さん、先日のボクシングでは鳥肌が立つほど、かっこ良かったです。本日は宜しくお願い致します。②古川さん、体験例会にご参加の皆様、例会を楽しんで行って下さい。

増田嘉一郎／①体験例会へようこそ。ロータリーの例会を楽しんで下さい。②八重樫さん、卓話楽しみです。

倉本 宏昭／①八重樫さま、お忙しい処、ありがとうございます。本日は楽しみにしています。②古川市議、ようこそ。お客様の皆様、RCの例会楽しんで下さい。③家内の誕生日に素敵なお花を贈って頂き有難うございました。喜んでいました。

吉原 則光／①ご来会の皆さん、ご多忙のところ有り難うございます。②本日の卓話、八重樫様、おもしろいお話たっぷり聞かせて下さい。楽しみです。

青木 邦弘／古川さん、今日はお世話になります。八重樫さん、先日の試合の右フックは素晴らしかったです。初めてプロボクシングの試合を見ました。4回戦は面白かったです。

岡田 清七／①八重樫さんの卓話楽しみに聞かせていただきます。②体験例会出席の皆さん、是非お仲間にお待ちしております。

二宮麻理子／①八重樫様、本日はお忙しいところ卓話を有難うございます。②体験例会にお越しいただきました皆様、ようこそいらっしゃいました。

鈴木 茂之／①皆さん、こんにちは。本日の卓話八重樫様、楽しみにしております。宜しくお願い致します。②体験例会のお越しの皆様、ようこそいらっしゃいました。

安藤 公一／①八重樫選手ようこそ。卓話宜しくお願い致します。②体験例会にご参加の皆様、ようこそいらっしゃいました。楽しんで行って下さい。③ラグビーワールドカップでのJAPANの南アフリカ戦の勝利を祝して、そして今後の健闘を祈って。

五十嵐 正／①八重樫様、お客様の皆様、本日はようこそおいで下さいました。②先日は妻の誕生日に素敵なお花をいただきました。有難うございます。

関口 友宏／①古川さん、八重樫さんようこそ。②本日、次男がお世話になります。

佐藤 利明／八重樫様、本日の卓話よろしくお願いたします。

後藤 英則／①八重樫選手、本日の卓話楽しみです。②ゲストの皆様、ようこそいらっしゃいました。

佐藤 真吾／①八重樫選手、古川先生、本日は当クラブ例会にお越しいただき有り難うございます。②体験例会にご参加いただきました皆様、お忙しい中有り難うございます。

斉藤 善孝／①八重樫様、本日はお忙しい中、卓話を有難うございます。今後の活躍をお祈りします。②古川先生、ようこそ。

内田 敏／①八重樫さん、ようこそ。本日の卓話楽しみです。よろしくお願致します。②体験例会参加の皆様、ようこそ。

■体験例会参加者のご紹介

○関口 友宏会員

私の次男で、関口大樹と申します。会社では総務・経理を長男といっしょに切り盛りしております。

関口 大樹様

(株)カナエルに入社して今年で10年になります。33才で趣味はサーフィンで、今回オリンピックの候補に残ったという事で、大変喜んでるところです。これを機に皆様と交流を深めて行きたいと思います。若輩ものですが、よろしくお願致します。



○佐藤 真吾会員

（株）ウチダ代表取締役、内田東吾さんをご紹介します。故内田武夫先生のお孫さんにあたります。今現在は、二俣川でドトールのショップを経営しております。年齢は35才、非常に真面目で実直な人です。これからの二俣川の次の世代を担っていく第一人者に期待をしている処です。

内田 東吾様



ご紹介を頂きました内田でございます。私は2年程前に二俣川に戻って参りまして、ドトールショップをしております。本日は、佐藤様のご紹介で参りました。どうぞよろしくお願い致します。

■卓話「ボクサーとして」 八重樫 東様
○卓話者紹介／古川なおき様（横浜市議員）



八重樫選手は1983年岩手県北上市でお生まれになり、拓殖大学時代には国体で優勝されております。大橋ジムに所属し、2011年にはWBA世界ミニマム級王者、2013年にはWBA世界フライ級王者です。お人柄は挑戦を常にする方で、第20代世界ミニマム級王者の時、井岡選手と戦われ敗れ、第40代世界フライ級王者の時も、ニカラグアの無敗の王者ローマン・ゴンサレスと戦い、惜しくも敗れることとなります。今は復帰戦にそなえ今まさに準備を

されているところでございます。

現在はさちが丘にお住まいで、お子様は3人おられます。常に世界チャンピオンとして決しておごる事なく、保育園に子供さんを送りに行ったり、非常に家庭的な方で、いろんなところで講演をなされてとても優しい方です。そして地元では一日警察署長や一日旭区長ということで2度も務めておられます。これを機に、八重樫選手を励ましていただければと思います。

○八重樫 東様



ご紹介戴きました八重樫でございます。本日はこのような席にお招きいただきありがとうございます。若輩者ではございますが、一生懸命喋らせていただきます。よろしくお願い致します。

先ほど古川先生からご紹介して頂きましたが、あれが僕にほぼ全てでもうお話することは無くなってしまいました。

私はプロボクサーとして仕事をして、試合はこれまで27戦やっております、試合前はもちろん緊張するんですけど、今の方がどちらかという緊張しております。

今私は横浜鶴屋町にある大橋ボクシングジムというところに所属しており、プロボクサーとして11年になります。私は元々岩手県出身で、こちらに繋がりはありませんでしたが、大学に進学する際に上京して参りまして、大学でもボクシングをやっております、大橋会長に憧れて横浜に住むことになりました。

私は人前でお話することはあまりないのですが、やる時は殆ど小学生とか中学生大学生で、私より若い人が多いのでいつも夢とか希

望とか、また、どういうふうにしたら世界チャンピオンになれるのかといった話をすることが多いのですが、今日は年上の人生の大先輩の方々に何をお話ししようか迷っておりますが、本日はプロボクサーに視点を置いて話してみたいと思います。

一言にプロボクサーといっても段階がありまして、C級B級A級の3つの階級がありまして、私は現在A級のボクサーというところでやっております。最初はC級で4回戦から行い、4ラウンドで決着がつかなければ判定で行いましょうというところなんです。そういう形で、4回戦、6回戦、8回戦となり、日本タイトルマッチクラスになると10回戦になります。東洋、太平洋とか世界タイトルマッチに限り、12ラウンド12回戦という形になります。

私はアマチュアで80戦位やっております、ルール上6回戦からと、ちょっと飛び級をしてB級ライセンス6回戦からのデビューになりました。私がデビューしたのは、2005年3月26日。関内にある横浜文化体育館で、結果は1ラウンドでKO勝ちでした。そうしましたら大橋会長が「八重樫は天才だ」と持ち上げまして「八重樫だったら、7戦で世界をとれる」と言われ、私はビックリ。アマチュアからで、こんな形でプロで勝てるとは思っていませんでしたので、ビックリしましたが、会長が「7戦で世界タイトルをやるぞ」と言い出したので、私も「分かりました。私も7戦で世界タイトルをとれるよう頑張ります」という形でした。

今は、私のことを「雑草ボクサー」とか「激闘王」とか言われ、ちょっと泥臭いイメージが定着しているんですけども、デビュー当初は「天才ボクサー」と言われてプロボクシング界に殴り込みをかけてきました。会長の後押しで5戦目で東洋太平洋王座をとれました。当時辰吉丈一郎選手が8戦目で世界タイトルをとるのが日本最短でして、それを抜く記録を作ろうということで、私が7戦目、ミニマム級で世界挑戦をしました。私も当時乗

せられて、もしかしてこのまま世界チャンピオンになってしまうのではないかと考えていて、挑戦して見事2ラウンドで顎を割られまして、12回判定までいったのですが、惨敗という結果を戴きました。

正直負けてショックという気持ちはなく「只々顎が痛い！」という気持ちだけでした。2ラウンドに相手のイーグル京和選手の頭が私の顎に当り、その時「バキュン」と変な音がしまして、何かおかしいなと思いましたが、戦わなくてはいけなく、戦っていたのですが、5ラウンドで反対側の顎にまた頭が当たり、会長に顎が痛いと言いましたら、会長は全然聞いてくれなくて、「お前なんでも言い訳しているんだ、頑張れ！頑張れ！」という感じで、ラウンドを重ねていて、気が付いたら10ラウンドあたりで顎が落ちてしまって、骨が折れると筋肉で何とか支えているのですけれど、顎関節が完全に骨折してしまっていて、口が開きっぱなしの状態で締まらない、これはおかしいだろうと思いましたが、会長は「もう少しで終わりだから、倒されるより、判定で負けたほうがいいと」言われ、私も口が動かさず、アーアーと返すだけでした。そうして世界戦惨敗となり、その時点で「天才八重樫」というイメージはまったく消えてしまいました。

私はそれから顎の手術をしまして再起の道を歩もうとするんですが、ただ、プロボクシングの世界が厳しいもので、戦績の中の一敗が人生の中で大きな岐路になりまして、ボクシング人生を左右しかねない大きな曲がり角になってしまいました。その時、世界挑戦から遠く離れてしまい、次の世界挑戦は何年後だろうか、また地道に日本ラウンドの選手と戦って日本チャンピオンになって、また更に世界チャンピオンになるまで、世界ランカーと戦ってと思い、自分は凄く遠く感じてしまい、「僕ダメなのかなー」と思う時期もありました。その頃の事を思い出すと、練習にも身が入らず、低迷している時期がありました。

そんな中また浮上するチャンスがありました。日本タイトル挑戦権を掛けたA級トーナ



メントがありまして、その中で優勝した者が日本チャンピオンに挑戦できるものです。これに出ようと思い、私は世界挑戦を経験したので、楽勝と高をくくって臨みました。そうしましたら見事に1回戦で負けました。私は2敗になってしまいました。プロボクサーの2敗は、結構致命的でして、皆からは「八重樫は終わった。」「プロボクサー八重樫は限界だ。」あとは引退するのではといわれました。そんな中自分自身も「もう無理かなー」と思ったりしました。ただここで辞めてしまうと何も残らないと思う自分もおりまして、何かしら残して行きたいと思う気持ちだけで、ズルズルやっておりました。そうなるよろくな練習も出来ず、スパークリングでもボコボコにされて、そういう時が一年位続きました。

そんな中、私は結婚をしました。妻には連れ子がおりまして、その子が当時5歳かと思えます。3人でいっしょに暮っていたんですが、その時私はボクシングを辞めようと思っていた時期でした。ある時妻と子供に「もうボクシング辞めてもいいか」と聞きました。そしたら二人は「いや、ダメだ」と言うんです。何でと聞いたら「もうちょっとボクシングをするところが見たい」と言うんです。そこで、もう少しやる事になり、少し練習に身が入るようになり、身が入ってしっかり練習が出来るようになると、運も近づいてくるのでしょうか、日本タイトルマッチ決定戦のお話をいただけました。

それは、準備期間の短いお話で断ることも出来たのですけれど、この話を受けなければ、

きっと浮上する機会もなくなるだろうと思ひまして受けました。試合をして、何とか判定で日本チャンピオンになり、また世界挑戦という道の第一歩を得ることが出来ました。

そうして、しっかり練習に身が入るようになりました。本当に家族のお蔭なんです。一生懸命練習していると、ツキがツキを呼んでくれるようになり、世界挑戦のお話を戴けることは出来ました。やるしかない、その時次の世界挑戦に敗れたら引退しようと思ひていますが、家族がいたので、初めての世界挑戦とは環境も違い、気持ちも違い、「絶対にとってやるんだ」と気持ちが2011年の11月頃でした。

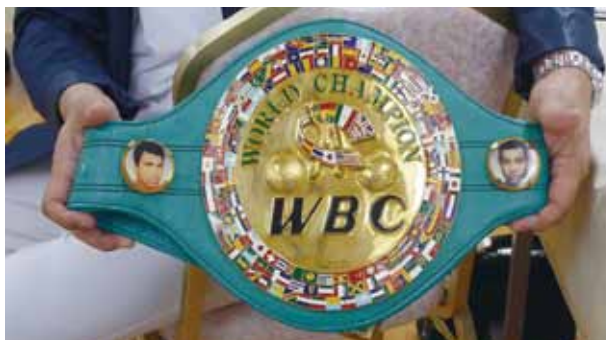
2011年という年は大震災の年で、私の地元は岩手県なんで、内陸で比較的被害は少なかったのですが、岩手県の沿岸の方は沢山の被害を受けまして、そんな中岩手県人が世界挑戦をしていいのか、ボクシングなんかやってていいのかと葛藤がありました。そんな中、岩手の人から逆に「八重樫、絶対世界一取れよ。頑張れよ!」と励まされました。被災して凄く大変な中、何故全然関係のないプロボクシングを応援してくれるのか疑問に思いました。ボクシングをやってていいのかと思ひている処にそういう声を頂いて逆に「よし、やってやろう。絶対に奴らの為に勝たなくてはならない。」と気持ちに変わりました。そして試合をして、10ラウンドKO勝ちでなんとか勝つことが出来ました。

世界チャンピオンになった時、「やった」と達成感があったのですが、それよりも一番最初に出てきた感じは、家族に対する感謝の気持ちでした。当初考えていた、自らの達成感より、家族への感謝が大きな感覚でした。会長やトレーナーへの感謝の気持ちが湧いてきて、人というのは感謝の気持ちが無いと何もならないだなと思ひました。その時28才です。やっと気がつきまして、いままでは自分の為だけにやってきたので、ありがとうという気持ちは全くなかったなど、世界チャンピオンになって初めて気づかされました。

その次の試合、WBC 井岡選手と WBA の世界タイトル統一戦をやることになりました。今はプロボクサー八重樫の話を聞いて頂けるのですが、井岡一翔選手と試合ができたお蔭だからと思います。その試合をご覧になった方はご存じと思いますが、試合後の私の顔はボコボコの姿だったのです。その姿を見て、いろんな方から「感動した。」と声を掛けられるようになり、世間的にも八重樫東と云うプロボクサーを認めてもらえた気がします。

私はその機会を機に、階級を一つ上げてフライ級に転級しました。そうすると 2kg 減量が楽になります。体の大きさも大きくなりましたし、動きも良くなりました。そして私はフライ級でもう一度世界チャンピオンに挑戦する機会を戴きました。相手はアマチチア時代 4 回対戦して 4 回負けた五十嵐という日本人の選手でした。その話を頂いて、4 回勝てない相手、5 回目も勝てないかなと思ったんですけど、挑戦するチャンスは中々ないのでやらして下さいとお願いしました。練習中も中々上手くいなくて、これは勝てないかなとずっと思っていました。その時、当時 1 年生位の息子に「とうちゃん、今回勝てないかもしれない。」と言いました処、息子は「おとうちゃん。それは違うよ。勝とうと思えば勝てるんだよ。」私はそれを聞いて、子どもながら何を言っているんだ、生意気だと思ったんですが、よく考えると自分がネガティブになりすぎていて、落ちている時に、息子にいい言葉をもたらしたなと思いました。そしてそれを励みに、練習に向かったのを覚えています。

何故そんな事息子が言ったのか分からないのですが、調べてみますと、豊臣秀吉が言っていました。「勝と思えば勝。負けよと思えば



負けよ。」と、それを見事に父親に言った息子はすごいと思うのです。そのお蔭で練習に身が入りまして、自分は勝つんだ勝つんだと思いついたら、本当に勝ってしまいました。

それこそ本日ここにお持ちしましたチャンピオンベルトは、息子に貰ったようなものです。本当に息子には感謝しています。

私はフライ級タイトルをとってから 3 回防衛しまして、その後軽量級最強と言われるゴンザレス選手と戦い負けてしまい、ベルトが無くなり、昨年 12 月に、ライトフライ級に階級を下げ、3 回級制覇をもくろみ、一生懸命戦ったんですけど、ここでまた倒されました。

そこで思ったんです。私は 27 戦 22 勝 5 敗なんです。もう私は 5 回も負けていたんです。でも気が付いたら「まだ現役やっているぞ。」私はボクシングを始めた時は 1 敗 2 敗が命取りで、辞めようかなと思っていた自分がいて、何でまだやっているんだろうと思う時、自分の環境が変わったこともそうですが、一生懸命戦って、いろんな人に応援され、いろんな人に必要とされて、周りの人に支えられて、そう考えると周りの人に恩返しという気持ちとか、感謝とかいう気持ちがあって、皆が応援してくれるから自分は試合ができる。感謝の気持ちを持っていると、「ああ、まだ俺は辞められないな。」と思って、もっと自分の戦っている姿を見てもらいたいと思うようになりまして、いまだに現役を続けております。

私は今 32 歳で、ボクシングでは 37 歳という一応定年があります。これからのボクシング人生は、周りの人への恩返しと思って、感謝の気持ちを持って戦って行こうと思っています。

あと残されたボクシング人生は短いですが、無駄にせず、日々精進して参りたいと思います。本日はありがとうございました。

■次週の卓話

10/14 (水) 職業卓話 杉山雅彦会員

週報担当 五十嵐 正

平成27年度8月出席率一覧表

員数	会 員 名	ホームクラブ	他クラブ	出席率	員数	会 員 名	ホームクラブ	他クラブ	出席率
1	秋 内 繁	100	0	100	21	佐 藤 真 吾	67	67	134
2	安 藤 公 一	100	0	100	22	佐 藤 利 明	100	0	100
3	安 藤 達 雄	－出席規定免除－			23	関 口 友 宏	100	0	100
4	青 木 邦 弘	100	0	100	24	杉 山 雅 彦	100	0	100
5	福 村 正	100	0	100	25	鈴 木 茂 之	100	0	100
6	後 藤 英 則	67	33	100	26	田 川 富 男	100	0	100
7	市 川 慎 二	100	0	100	27	滝 澤 亮	67	0	67
8	五十嵐 正	100	0	100	28	内 田 敏	－出席規定免除－		
9	北 澤 正 浩	100	0	100	29	漆 原 恵 利 子	100	0	100
10	今 野 丁 三	－出席規定免除－			30	矢 田 昭 一	－出席規定免除－		
11	倉 本 宏 昭	－出席規定免除－			31	吉 野 寧 訓	－出席規定免除－		
12	増 田 嘉 一 郎	67	67	134	32	吉 原 則 光	－出席規定免除－		
13	松 本 英 二	67	0	67	33				
14	新 川 尚	100	0	100	34				
15	二 宮 麻 理 子	100	0	100	35	高 梨 昌 芳	名 誉 会 員		
16	二 宮 登	100	0	100	36				
17	岡 田 清 七	－出席規定免除－			37				
18	太 田 勝 典	－出席規定免除－			38				
19	太 田 幸 治	－出席規定免除－			39				
20	齊 藤 善 孝	67	0	67	40				
例会日	5日	19日		26日					平均
例会出席率	$\frac{27}{28}$	96.43%	$\frac{24}{27}$	88.89%	$\frac{23}{25}$	92%			
修正出席率	$\frac{28}{28}$	100%	$\frac{24}{27}$	88.89%	$\frac{25}{25}$	100%			96.30%